

第103回全国高等学校野球選手権岐阜大会

新型コロナウイルス感染防止等に関するよくある質問とその回答

「第103回全国高等学校野球選手権岐阜大会運営の基本的な考え方（ガイドライン）6月17日決定」に関し、これまであった問い合わせに対し、ガイドラインの意図を明確にし、加盟校が共通理解のもとで大会に臨めるようにQ&Aを作成しました。各校での関係者への周知徹底をお願いします。

1 大会の中止について ※ガイドライン p.7 (6(1), 7) 参照

質問1：新型コロナウイルス感染症に関連することで大会が中止になることはありますか？

回答1：選手権大会の出場校を決定することを目的に、全試合を完遂することを最優先に大会運営を行います。ただし、以下①～④に該当する場合は中止することがあります。

- ①主催者の日本高野連及び朝日新聞社が地方大会の中止を決定した場合。
- ②政府または岐阜県知事等（行政）から中止の要請があった場合。
- ③県内に緊急事態宣言が発令され、岐阜県教育委員会が県内高校を休校とした場合。
- ④大会でクラスターが発生し、感染者や濃厚接触者が複数チームに広がる等、県高野連として、大会の継続が難しいと判断した場合。

2 大会前、大会中に体調不良者が発生した場合※ガイドラインp.3(3(2)), p6-7(6(1)(2)(3))参照

質問2：選手および家族も含め、チーム関係者にPCR 検査の結果、陽性反応が出た場合や濃厚接触者が判明した場合、試合に参加できますか？

回答2：選手及び家族に上記状況が発生した場合、責任教師は速やかに連盟に報告するとともに、保健所の指示・指導に従うこととなります。保健所の指導のもと隔離措置、濃厚接触者の特定、PCR検査の指示などがあり、濃厚接触者と特定された場合は、検査で陰性となっても、2週間の自宅待機となります。また、濃厚接触者でない場合も、検査後、陰性が確認されるまでは大会に出場することはできません。それ以外の指導者、登録選手でチームが組めれば大会に参加することは可能です。ただし、過去の保健所の判断では、大会期間中にチームに陽性者が出た場合、そのチームのほぼ全員が濃厚接触者あるいは検査対象者となるため、当該校は原則、大会への出場を辞退することになります。

質問3：登録選手（大会選手資格証明書）に係る変更は可能ですか？

回答3：開幕日前日（7月9日13:00）を変更の締め切りとします。日本高野連の規則により、それ以後の変更は認めません。変更届は、専務理事に連絡し、様式を使用して提出してください。なお、今大会に限り、診断書等の提出は義務付けません。

3 球場への入場制限についてー制限付有観客有料試合ー※ガイドラインp2-3, 3(1)参照

質問4：一般の人は観戦できますか？

回答4：できません。「Level 2（入場は学校関係者のみ）」で開幕予定です（7月5日現在）。なお、感染状況が安定し、あるいは更に厳しい状況になるなどの場合は、政府や自治体の方針も踏まえ、連盟理事会で対応を協議し、速やかに各校へ周知していく予定です。

質問5：野球部員は全員、保護者はすべて入場できますか？

回答5：「Level 2」では、感染のリスクや各校で責任を持って管理できる人数を考え、学校関係者（ベンチ人員以外の部員、その他学校関係者（学校職員、部員の保護者及び家族、野球部OB会メンバー、野球部後援会メンバー、野球部関係者（チームトレーナー等）、当該学校の一般生徒のうち各チーム300人まで入場可能）としています。その内訳については、各校の裁量となります。なお、「300人」はベンチ人員以外に観客席に入れる人数であり、ベンチの24人は含みません（これまで発出した異なる表現の文書は訂正し、ガイドラインに統一します）。

質問6：今後、どのような状況になったら、「Level 1」（入場人数の上限緩和、一般客入場可）に移行する予定ですか。

回答6：岐阜県が示す「コロナ対策強化指標」の5つの基準値を下回る状況が継続することを1つの判断基準とし、政府や自治体の方針や最新情報を参考に、連盟理事会で対応を協議し、速やかに周知していく予定です。周知期間（約1週間）も勘案し、最速でも「Level 1」となるのは準々決勝以降と想定しています。

なお、入場可能人数が増えた場合、各校の「学校関係者」の人数は、各校で全員の健康状態、連絡先を掌握し、チケット購入を取りまとめられる人数を上限としてください。

県コロナ対策強化指標	基準値	7月3日現在
新規感染者数（過去7日間合計）	7人以上	34人
PCR検査陽性率（過去7日間合計）	7%以上	0.7%
感染経路不明者数（過去7日間合計）	5人以下	12人
入院患者数	60人以上	75人
重篤者数	3人以上	0人

4 入場・観戦の手続き等について ※ガイドラインp. 3-6(3(3), 4(1)(3))等参照

質問7：入場券はどのように購入したらよいですか？

回答7：責任教師の会場受付時に、各グループ代表者用のID（首にかけるもの）をお渡しします。グループ毎に検温確認表を作成し、有料入場者数を確定してください。各球場（施設）の指定場所で、球場役員が各グループの入場者数分の入場券をまとめて販売します。各グループ代表者は入場券をまとめて購入し、それらを入場予定者に配布してください。なお、団体券を使用する場合は、それを利用する入場者とその枚数を確認しますので、購入時に検温確認表とともにご提出ください。

質問8：球場入場者は検温がありますか？

回答8：あります。大会当日、球場（施設）に入る全参加者の検温確認表を提出してもらいます。提出されない場合、または検温確認表に必要事項の記載がない方は入場できません。なお、球場で用意できる機材（体温計等）の数に限りがありますので、各校で準備をお願いします。

質問9：検温確認表の連絡先について、個人の携帯電話及びスマートフォンの番号に限りですか？

回答9：限りません。不測の事態に備え、各校の責任教師及び各グループの代表者が速やかに連絡・周知等ができるシステムを構築することが最優先です。

質問10：学校職員は入場券を購入する必要はありますか？

回答10：職員の身分証明書で入場できます。入場の際にご提示ください。なお、自校の試合日のみ有効です。ただし、検温確認表は作成して提出してください。

質問11：団体券はどこで購入できますか？

回答11：各会場で購入できます。必ず教員が購入してください。

質問12：過去に購入した団体券の残部は使用できますか？

回答12：使用できます。

質問13：観戦者の入場は一斉でなければならないですか？

回答13：できる限り一斉入場にご協力ください。遅れて入場する人がある場合は、責任教師あるいは各グループ代表が、入場口にて個別に対応する必要が出て来ます。

質問14：球場入場者は「行動記録表」を作成および提出しますか？

回答14：球場（施設）に入場する際に「行動記録表」の提出は求めません。

なお、仮に感染者が出た場合に、その前日から一定期間内の行動について、保健所の調査を受けることとなります。

質問15：観客席はどの席でも座れますか？

回答15：座れません。大会役員の指示された学校関係者席（応援席）に着席してください。

質問16：観客席にテントを設営してもよいのか？

回答16：白以外のテントの設営は、熱中症対策として可とします。設置場所については、各球場で確認してください。ただし、その下での密集・密接は徹底的に避けてください。また、強風時には使用を制限することがあります。

質問17：観客席における注意事項を教えてください。

回答17：ガイドラインp.6(6(1) 大会に参加する全ての方に共通する感染症対策、(3) 観客席における観戦時の留意点・注意喚起及び要請)を確認してください。概要は以下の通りです。

①マスク着用、こまめな手指消毒の徹底をお願いします。

②ソーシャルディスタンス確保の指示をお願いします。

③試合終了後、座席の消毒ならびに清掃をお願いします。

※消毒に関しては、消毒液、座席を拭くタオル・雑巾等は各校で持参してください。

④ゴミを必ず持ち帰るようお願いします。

⑤体調不良者の確認 救急体制が必要な場合は大会役員に報告をお願いします。

⑥座席からの不要な移動は避け、球場内でも不必要な回遊はしないでください。

⑦試合途中で出入りをする場合は、係員に入場券の半券を提示してください。

質問18：他校の試合を観戦することはできますか？

回答18：できません。今大会については、完全入替え制です。試合終了、速やかな消毒ならびに清掃作業、場外への移動にご協力をお願いします。なお、他校の学校関係者でもある場合は、その学校の関係者として同様の手続きをして入場してください。

5 応援について ※ガイドラインp.2-3(3(1)), p.6(4(3))参照

質問19：応援の規制事項はありますか？

回答19：今大会は感染防止策の徹底が求められており、三密回避とマスク着用、大声での応援禁止は、日本高野連が示した今大会を通した開催の条件です。熱中症対策も含め、生徒の安全を考えた時、これまでの通常の応援をすることは不可能と考えています。

(不可能な例)

- ・ 演舞やダンス、肩組みなど集団での動きを伴う応援 →× (接触感染・熱中症リスク)
- ・ 立ったり座ったりを繰り返す集団での動きのある応援 →× (接触感染・熱中症リスク)
- ・ 座席の上に立ったり、一カ所に集まったりする応援 →× (接触感染・熱中症リスク)
- ・ ファインプレーなどの時に観客同士のハイタッチ →× (接触感染リスク)
- ・ 鳴り物の使用 (ブラスバンドや太鼓など) 指笛の応援 →× (飛沫感染リスク)
- ・ 大声での声援、応援 →× (飛沫感染・熱中症リスク)
- ・ 応援タオルなどを回す、横に広げる →× (飛沫感染リスク)

※上記行為は感染リスク・熱中症リスクが高くなります。声は出さず、拍手での応援を基本としてください。

(可能な応援例)

- ・ 拍手での応援 (拍手の代替としてメガホンやスティックバルーンの使用は認めます)
- ・ 音源による応援 (カセットデッキ等の観客席への持ち込みと使用を許可します)

※いずれも大きな声を発することにつながらないように留意してください。

※球場 (施設) 内でスティックバルーンを膨らます際は、飛沫感染のリスクを防ぐためにエアポンプを使用してください。

質問20：音源や音量に規制事項はありますか？

回答20：録音した音源の再生は可とします。音源が観客の大声での声援を誘発しないよう、また、観客が発声していると誤解を招かぬように、音声での音源の収録は禁止します。音量については、対戦校との関係を考え、常識の範囲内でお願いします。

質問21：音源について、市販のCDを使用してもよいか？

回答21：市販のCDの使用に関する著作権に関しては、岐阜県高野連に許諾の権限はありません。使用前に、必ず著作権者や著作権管理団体(JASRAC)に確認をお願いします。ただし、高校野球応援に伴う吹奏楽やブラスバンド演奏の著作権については、営利目的でないこと (非営利)、演奏に関して料金を受け取っていないこと (無収入)、演奏の報酬が支払われないこと (無報酬) 等、著作権者の許諾を得ずに演奏できる条件を満たしています。

質問22：音源に合わせて、応援団やチアによる演舞 (声を出さない手のアクション等) は可能か？

回答22：できません。7月5日現在、入場者「Level 2」で開幕予定です。「Level 2」では、一般生徒の入場は認めておりますが、応援団やチアの入場を認めておりません。

「Level 1」になれば、応援団・チアの入場が可能となりますが、大会を通して、大声での声援が禁止され、マスク着用が義務付けられている中で、炎天下で生徒にパフォーマンスをさせるのは、学校としての安全配慮義務が問われる行為と考えます。ソーシャルディスタンスを保ち、接触感染と飛沫感染・熱中症のリスクを考慮し、声は発せず、手拍子を誘導するための簡単な演舞やダンスが基本となると考えます。

質問23：各球場の電源は使用可能ですか？

回答23：原則使用できません。ただし、長良川球場・大垣市北公園野球場に関しては事前に事務局に一報入れ、当日は受付時に申し出てください。